

科目名	教職入門		
担当教員名	橋本 克己		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-教職課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

### 1 科目の性格

本科目は教育職員免許法に定める、中学校2種免許取得に必要な「教職に関する科目」のうち、「教職の意義等に関する科目」（2単位）に対応するものである。（教職必修科目）

### 2 科目の概要

本科目の概要は、主に以下の3点である。 教職の意義と、教員の役割についての根本原理を学ぶ。

教員の職務内容（サービス・研修など）について学ぶ。 教員採用のあり方などを知る。

### 3 学修目標

本科目の学修目標は、以下の3点である。 教職の制度的側面についての基礎知識を習得する。 教職にの意義と教員の役割について理解を深める。 教職への意欲を高める。

## 内容

- 第1回： 学校をめぐる、現代の諸問題
- 第2回： 現代社会の教育課題と学校（1） 義務教育課程における課題
- 第3回： 現代社会の教育課題と学校（2） 後期中等教育における課題
- 第4回： 専門職としての教師・その法的位置づけ
- 第5回： 教師像の歴史的变化
- 第6回： 教員生活の実際
- 第7回： 教師の職業的社会的化と研修の意義
- 第8回： 研修制度の実際
- 第9回： 学習指導要領の法的意義
- 第10回： 学校教育と法体系
- 第11回： 教員のサービス
- 第12回： 学校・家庭・地域社会の連携と教員の役割
- 第13回： 教員生活を振り返って・授業担当者による教員生活体験談
- 第14回： 学校教員の採用システムとその対応
- 第15回： まとめ

## 評価

毎回授業時の小テストと筆記試験により評価する。小テスト50：期末試験50の比率で評価（100点満点）し、合計60点以上を単位認定する。合格点に満たなかった場合には「再試験」を行う。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】 テキストは、「図説・表解 教育法規」 坂田仰ほか著 教育開発研究所、を用いる予定である。変更の場合もあるので、初回の授業で指示する。

【参考図書】 参考書・参考資料等として、教育法規に関しては「学校小六法」が、採用情報に関しては都道府県教育委員会の広報が役立つ。

科目名	教育基礎論		
担当教員名	亀田 温子、綾井 桜子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-教職課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

社会情報学部 教職科目

教職課程の基礎科目として各教科の基本となる教育の基本理念、教育の歴史や思想について学習する。また、今日の教育の動き、教育改革の進行など、現代社会の動きと日本、諸外国の状況など、教育現象を広くとらえ、人間形成のあり方にも触れる。

教育についての視野を広げ、自身の教育観の形成に役立てることを学修目標とする。

## 内容

1	現代教育の諸課題
2	教育とは - 教育へのさまざまな問い
3	教育と社会変容 - 教育の機能・役割
4	子どもの生活環境の変化
5	教育改革の動向
6	公教育の成り立ち
7	課題発表
8	教育制度と学校体系 - 諸外国と日本
9	学力について - 新学力観とPISA
10	子ども観の誕生 - ルソーにおける〈子どもの発見〉
11	近代学校の誕生 - 西洋と日本
12	学校観の移り変わり - デューイにみる学校と社会
13	現代にみる学校化社会と新たな学習への模索
14	課題発表
15	まとめ

## 評価

課題レポート60点、授業・グループワーク参加30点、発表10点の合計100点とし、60点以上が合格。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

『やさしい教育原理』（有斐閣）

『学ぶこと・教えること』（金子出版）などが参考。

テキストは授業時に紹介する。

科目名	教育心理学		
担当教員名	綿井 雅康		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-教職課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

## ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

### 科目の性格

教職に関する科目のうち、教育の基礎理論についての理解を深める科目である。

### 科目の概要

教職志望の初学者を主な対象として、学習の過程、および児童生徒の心身の発達について、教育心理学的な知見を学ぶとともに、学校教育現場における具体的な問題についての理解を深める。障害をもった子どもたちの発達、および特別な支援のあり方についても取り扱う。児童・生徒であった、そして学生である受講生に対して、「教える」、「学ばせる」、「学びを支援する」という「教師の立場」から、教育・指導や学習活動を客観的かつ分析的な視点からとらえようとする態度を育むことを目指す。

### 学修目標

教育心理学的な考え方や知識に基づいて、学校教育における学習活動の客観的に理解することができる。さらに、よりよい学習活動を展開するための工夫や特別な支援を必要とする子どもたちの学習活動のあり方について、心理学的知見に基づいて具体的に考えることができるようになる。

## 内容

1. 教育心理学と学校教育
2. 学習の動機づけ(1) 動機づけのメカニズム、内的欲求
3. 学習の動機づけ(2) 内発的動機づけと外発的動機づけ
4. 学習の基礎理論
5. 教授学習における学習理論
6. 協同学習の理論と実践
7. 学級の心理学
8. 学習の個性化、個別的ニーズへの対応
9. 教育評価
10. 発達(1) 発達の一般的特徴、発達を規定する要因
11. 発達(2) 発達段階と発達課題
12. 学習者の特性理解(1) 知的能力の発達と測定
13. 学習者の特性理解(2) パーソナリティの理論と測定
14. 学習者の特性理解(3) 障がいに応じた特別支援教育
15. 学習のまとめと確認

## 評価

筆記試験：90点，授業内課題10点の計100点で、60点以上を合格とする。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教職ガイダンス等で指示します。

科目名	教育心理学		
担当教員名	綿井 雅康		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-教職課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

##### 科目の性格

教職に関する科目のうち、教育の基礎理論に関する科目である。

##### 科目の概要

児童生徒の心身の発達、学習・教授学習過程の特質などを中心に取り上げる。さらに、学校教育における「生きる力を育む」ための「学び」の本質を理解することをめざす。さらに、受講生自身や級友・学友たちがどのように学び成長し発達してきたのかについて、教育心理学の視点や知見を提示し、より客観的に理解する機会も提供する。

##### 学修目標

児童期から青年期へと移行していく児童・生徒の心理的諸特性がどのように発達するのかをより深く理解し、子ども理解に役立てようとする態度をもつ。さらに、学校における多様な学習活動の過程や意義を理解するために、教育心理学的な知見を適用しつつ客観的科学的に分析する態度を養う。

#### 内容

- 1．子ども理解・学習活動の理解と教育心理学
- 2．知能の発達と学力
- 3．道徳性の発達
- 4．社会性の発達
- 5．教師と子ども間関係、子ども間の人間関係の発達
- 6．諸特性の発達を測定する方法
- 7．学習過程の基礎(1) 心理学における学習、条件づけ
- 8．学習過程の基礎(2) 学習意欲と統制感・原因帰属
- 9．学習過程の基礎(3) 観察学習、学習の諸相
- 10．学習過程の基礎(4) 記憶、メタ認知、問題解決としての学習
- 11．学習過程の基礎(5) 学習指導に生かす教育評価のあり方
- 12．子どもの個人差に応じた学習指導
- 13．学校における不適応
- 14．特別支援教育の理解
- 15．学習のまとめと確認

#### 評価

期末試験：90点，授業内課題10点の計100点で、60点以上を合格とする

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教職ガイダンス等で指示します。

科目名	道徳教育		
担当教員名	上原 行義		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-教職課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報) / 中学校教諭一種免許状(社会) / 高等学校教諭一種免許状(公民) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

本科目は、教育職員免許法施行規則に定める、中学校・高等学校の免許取得に必要な「教職に関する科目」のうち、「教育課程及び指導法に関する科目」に対応するものである。

中学校一種の免許状を取得しようとする者は、必修であるので留意すること。

#### 科目の概要

道徳教育に対する一般的認識は、歴史的な影響もあって学習指導要領に定められた本質や理念とは、大きなずれがある。道徳教育が目指す人間観や教育観について正しく理解して指導に当たることが出来るように、下記の学修目標にかかわる事項について具体的に考察する。また、学生相互の意見交換を大切に、常に自ら判断し行動できる人間を目指して向上しようとする態度を身につける。

#### 学修目標

- ・道徳教育とは何か、その意義や課題について考察し、道徳教育の本質や理念について正しく理解する。
- ・学校における道徳教育と道徳の時間の果たす役割について理解し、「道徳」の授業のあり方について考察する。
- ・「道徳」の授業の進め方について理解し、学習指導案を作成する。

## 内容

1	1	学習指導要領における道徳教育の位置づけ
2	2	社会規範としての道徳 道徳教育に関する一般的認識のずれ
3	3	現代社会における道徳教育の課題 青少年の問題状況・現代社会の道徳的問題
4	4	道徳の本質と道徳教育の意義 人間の存在構造と道徳教育・道徳の本質・理論的基礎
5	5	学校における道徳教育の基本構造 学校の社会的任務・道徳教育の目標と内容
6	6	学校の全教育活動における総合的展開
7	7	学校における道徳教育の運営と指導 道徳教育の指導計画・道徳の時間の指導
8	8	道徳の時間の指導案と指導の諸方法 学習指導案の作成
9	9	学校における道徳教育の基礎 道徳における行為決定のしくみ・学校における道徳教育
10	10	学校における道徳の授業 どんな資料で何をねらうか
11	11	これからの時代に要求される道徳教育 道徳教育をめぐる動向・道徳教育の新しい発想
12	12	学習指導案の検討と模擬授業の準備
13	13	模擬授業の実践(1)
14	14	模擬授業の実践(2)
15	15	模擬授業の評価とまとめ

## 評価

レポート課題60%及び平常の授業態度、提出物等40%により評価を行い、60点以上を合格とする。

合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 遠藤昭彦、山口満編 『道徳教育と特別活動』教職教育講座 第4巻 協同出版

文部科学省 『中学校(高等学校)学習指導要領』 政府刊行物

文部科学省 『中学校学習指導要領解説 道徳編』 政府刊行物

【推薦書】 押谷由夫、宮川八岐編 『道徳・特別活動重要用語300の基礎知識』 明治図書 375.35/D



科目名	特別活動		
担当教員名	上原 行義		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-教職課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

#### 科目の性格

本科目は、教育職員免許法施行規則に定める、中学校・高等学校の免許取得に必要な「教職に関する科目」のうち、「教育課程及び指導法に関する科目」に対応するものである。

中学校・高等学校の免許状を取得しようとする者は、必修であるので留意すること。

#### 科目の概要

特別活動は、学校教育における各教科以外の学習の中心となるものである。しかし学習指導要領に示された特別活動の本質や理念が一般的には十分に理解されているとは言えない。特別活動の目的や方法について正しい理解のもとに指導できるよう、下記の学修目標にかかわる事項について具体的に考察する。また、学生が自ら小中学校で体験した特別活動に関する思い出や課題意識を相互に意見交換し、教師として児童生徒の自主的な活動を指導できるようにする。

#### 学修目標

- ・学校教育の今日的課題である「生きる力」の育成に資する特別活動の意義や役割について考察し、特別活動の歴史的変遷や領域ごとの特色について理解する。
- ・望ましい集団活動を組織し、児童生徒が自ら話し合い、協力して実践するための指導のあり方について考察する。
- ・学級活動の授業の進め方について理解し、学習指導案を作成する。

#### 内容

1	1. 学校教育の今日的課題と特別活動	社会動向と教育的課題
2	2. 特別活動の教育的課題	特別活動の特質、性格について
3	3. 日本における特別活動の歴史と変遷	近代日本の教科外活動、戦後における特別活動
4	4. 学級活動の意義と指導の実際	学級活動の意義と性格
5	5. 学級活動の内容・方法・評価	学級活動の指導形態と方法
6	6. 学級活動の展開事例と今日的課題	学級活動の指導案
7	7. 学級活動の指導案の作成	
8	8. 児童会活動、生徒会活動	児童会・生徒会活動の特質と目標、内容及び指導上の留意点
9	9. クラブ活動、部活動の歴史的変遷と教育的意義	
10	10. 学校行事の目標・内容・指導計画等望ましい実施と指導上の配慮事項	
11	11. 総合的な学習の時間との連携	
12	12. 学級活動模擬授業の進め方について	指導案の検討、模擬授業の準備
13	13. 模擬授業の実践（1）	
14	14. 模擬授業の実践（2）	
15	15. 模擬授業の評価とまとめ	

#### 評価

レポート課題60%及び平常の授業態度、提出物等40%により評価を行い、60点以上を合格とする。  
合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】遠藤昭彦、山口満編 『道德教育と特別活動』教職教育講座 第4巻 協同出版

文部科学省 『中学校（高等学校）学習指導要領』 政府刊行物

文部科学省 『中学校（高等学校）学習指導要領解説 特別活動編』 政府刊行物（ぎょうせい出版）

【推薦書】押谷由夫、宮川八岐編 『道德・特別活動重要用語300の基礎知識』 明治図書 375.35/D

科目名	教育方法		
担当教員名	星野 敦子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-教職課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

本科目は、中等教育の現場において必要とされる教育方法理論の基礎知識の獲得を目的としている。

特に教育課程編成に関わる知識と教育方法理論の関係を的確に捉えることにより、教員採用試験に直結する実践力を養う。

## 内容

- 1 教育の目的と方法
- 2 教育課程の類型：教科主義と開発主義
- 3 カリキュラムの構成要素
- 4 教育方法の歴史的変遷（1）教科主義的カリキュラムと教育方法
- 5 教育方法の歴史的変遷（2）経験主義的カリキュラムと教育方法
- 6 教育方法の歴史的変遷（3）近代の教育カリキュラムと教育方法
- 7 わが国における教育方法の歴史的変遷
- 8 いろいろな教授法（1）学習集団と教授法
- 9 いろいろな教授法（2）教材開発と教具の利用
- 10 いろいろな教授法（2）新しい教授法
- 10 学習指導の技術
- 11・12 学習指導要領の変遷（1）歴史的変遷
- 13 学習指導要領の変遷（2）現行指導要領の特徴
- 14 世界のカリキュラム改革
- 15 まとめ

プレゼンテーションにあわせた資料プリントを毎回配布する。プレゼンテーションファイルはホームページで随時公開している。

毎時間課題プリントを実施する。

## 評価

評価は、以下の2点を総合して行う

- 1 授業ごとの課題提出（30％）
- 2 最終試験の達成度（70％）

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に定めない

科目名	教育方法		
担当教員名	井口 磯夫		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-教職課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、教職課程の選択科目として開講されている。

教育方法は広義には、教育内容、学習形態、教授組織、教育メディア、学級経営、生活指導、学習環境、授業評価など、学校教育に関するあらゆる技術的な問題を扱う分野である。

本講義では、授業設計を中心に学ぶ。授業設計の中に取り入れるさまざまな情報機器の活用（特にコンピュータの利用）の方法について学ぶ。

## 内容

1	教授・学習過程のシステム分析（ブラックボックスと制御システム）
2	教授・学習過程とコミュニケーション過程（コンフリクトをもつフィードバックシステム）
3	カリキュラム開発と教育工学
4	授業目標の設定（教育目標の分類と行動目標、評価の観点、ルーブリック）
5	学習集団の編成（学級集団、集団の機能、集団学習形態の特質、集団の編成）
6	授業の個別化の理論と実際（適性処遇交互作用、コンピュータによる個別化）
7	教材とその開発研究（教材作成の意義、教材の評価の観点、教材作成の研究的意義）
8	教授メディアの考え方
9	教授メディアを活用した学習指導案と授業実施
10	ICT（情報機器）の授業への利用と実際
11	プロジェクタ教材を活用した授業（プレゼンテーション技法）
12	コンピュータ実習（コースウェア作成技法1）
13	コンピュータ実習（コースウェア作成技法2）
14	授業改善のための評価基準
15	まとめ

## 評価

最終レポート（50%）、課題等の提出物（30%）と授業中の課題への取り組み（10%）、授業への参加度（10%）による総合的な評価とし、60%以上を合格とする。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に指定なし。毎時間資料を配布する。授業用フォルダ内に授業用ワークシートを置く。

【参考書】教育方法 の教科書、松平信久・横須賀薫編『教育の方法・技術』（教育出版）。

科目名	生徒指導		
担当教員名	江川 玫成		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-教職課程		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

生徒指導については、高校時代までに、指導を受けるという経験を通して、ある程度は知っているであろう。しかし、それは必ずしも当を得た理解とは限らない。そこで、生徒指導の意義・目的、課題、内容、方法について、きちんと理解を図ることを目的とする。合わせて、進路指導についても同様に理解を深めることをねらう。

この授業を通じて、教師として行うべき生徒指導について、その意味、意義・重要性、指導内容、教育課程との関連性、指導の組織と計画、生徒理解の方法、指導方法、進路指導等について、きちんと理解してほしい。

#### 内容

1. 生徒指導の意義と目的
2. 生徒指導の領域・内容と課題
3. 生徒指導と教育課程との関連
4. 生徒指導の組織と計画
5. 児童・生徒理解の意義と重要性
6. 児童・生徒理解の内容
7. 児童・生徒理解の方法〔その1～観察法・面接法（その1）〕
8. 児童・生徒理解の方法〔その2～面接法（その2）・検査法・その他の方法〕
9. 生徒指導の方法原則
10. 生徒指導における集団活動の意義と重要性
11. 生徒指導における集団指導の方法
12. 進路指導の目的と内容（その1）
13. 進路指導の内容（その2）
14. 進路指導の方法
15. まとめ

授業は教科書を使って行うが、必要に応じて別途プリントや資料を配布し、講義形式で行う。そして、授業中に質問を發して、挙手の形で答えるという質問応答の方法を取り入れていく。

また、毎回の授業で、その時間に学ぶべき事項の理解を深めるべく、かつ復習を兼ねて質問を發し、配布された用紙に解答して提出してもらおう。なお、これが平常点と出欠チェック の資料となる。

#### 評価

平常点（15点） レポート（15点） 筆記試験（70点） 60点以上を合格とする

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】江川？成編著 『生徒指導の理論と方法〔三訂版〕』 学芸図書

【参考図書】江川？成編集 『校長・教頭のための児童・生徒問題対応百科』 教育開発研究所

上寺久雄編 『生徒指導』 有信堂

推薦書・参考図書については、これ以外にも授業で提示する。

科目名	教育相談		
担当教員名	上原 行義		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-教職課程		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

#### 科目の性格

本科目は、教育職員免許法施行規則に定める、中学校・高等学校の免許取得に必要な「教職に関する科目」のうち、「生徒指導、教育相談及び進路指導に関する科目」に対応するものである。

中学校・高等学校の免許状を取得しようとする者は、必修であるので留意すること。

#### 科目の概要

学校教育において個に応じたきめ細かな指導を進めるために、児童生徒理解を欠かすことは出来ない。指導にあたる教師が児童生徒のありのままを受け止め、教育相談的にかかわることができるようにするため、下記の学修目標にかかわる事項について具体的に考察する。また、学生相互の意見交換を大切に、主体的に人とかかわる体験を通して教師を目指して自ら向上しようとする態度を身につける。

#### 学修目標

- ・学校教育相談とは何か、教育相談やカウンセリングの歴史及び基本的な理論について理解し、その意義や課題について考察する。
- ・学校における生徒指導の中核をなす教育相談の果たす役割について理解し、カウンセリングマインドによる具体的な指導のあり方について考察する。
- ・学校教育相談の進め方について理解し、カウンセリングの模擬体験をする。

#### 内容

1	(1) 生徒指導における教育相談の位置づけ
2	(2) 生徒指導の内容と教育相談
3	(3) 生徒理解と生徒指導の方法
4	(4) 問題行動の意味と枠組み
5	(5) 学校における教育相談の意義と特色
6	(6) 学校教育相談の担当者
7	(7) 学校教育相談の基本的考え方
8	(8) 教育相談・カウンセリングの理論
9	(9) 教育相談・カウンセリングの進め方
10	(10) カウンセリングの基本技法
11	(11) カウンセリングの模擬体験(1)
12	(12) カウンセリングの模擬体験(2)
13	(13) 学校教育相談におけるさまざまな手法の活用
14	(14) カウンセリング実習(1)
15	(15) カウンセリング実習(2)・評価とまとめ

## 評価

試験60%及び平常の授業態度、提出物等40%により評価を行い、60点以上を合格とする。  
合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】長谷川栄、杉原一昭編 『生徒指導と教育相談』教職教育講座第5巻 協同出版

【推薦書】渡辺弥生 『学校だからできる生徒指導・教育相談』 北樹出版 375.2/G

中野武春 『学校教育相談がわかる本』 ぎょうせい 375.2/N

北島貞一 『学級で活かす教育相談』 ぎょうせい 375.2/G



科目名	教育実践論		
担当教員名	向後 朋美、安達 一寿		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-教職課程		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状（社会） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は中学校教諭一種免許状（英語）取得のための必修科目です。教科または教職に関する科目の1つで、「介護等体験」実習とその事前事後指導を含みます。

「介護等体験」の対象となる社会福祉サービスを利用している方々や社会福祉施設及び機関に対する基本的認識を得ます。

- （i）介護等体験の事前指導をとおして、社会福祉教育の概要をまなび、そこで必要とされる基本的な技術を体得します。
- （ii）配属先の実習施設での実習をとおして、社会福祉従事者の基本姿勢を学びます。（iii）事後指導をとおして、体験した内容の振り返りを行い、基本的な認識を醸成します。

#### 内容

##### 1. 事前指導

- （1）社会福祉教育について
- （2）対人援助について
- （3）介護等体験の目的について
- （4）介護等体験における心構え
- （5）自己目標をたてる
- （6）社会福祉施設と福祉サービスについて
- （7）特殊教育と障害児者について
- （8）配属先施設についての自己学習
- （9）社会福祉施設の専門職について
- （10）社会福祉従事者の基本姿勢
- （11）コミュニケーション理解
- （12）車椅子、食事介助、移乗等体験

##### 2. 介護等体験

##### 3. 事後指導

- （1）介護等体験における個別振り返り
- （2）介護等体験におけるグループによる振り返り

#### 評価

下記の割合で点数化し、60%以上の得点を合格とする。

- （1）授業への参加度 50%
- （3）介護等体験施設の「記録ノート」等の資料に基づく評価： 50%

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業内で介護等体験の手引きを配布します。

科目名	総合演習		
担当教員名	井口 磯夫、鎌田 恒夫、橋本 ヒロ子、宮城 道子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-教職課程		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

本科目は、教職課程の教員資格取得のための必修科目である。

人類共通の課題として国際理解、環境問題などがあり、我が国の課題としては福祉・健康や家族関係などがあげられる。これらの中から複数の課題について、受講者の興味関心に応じて具体的なテーマを選択し、複数の教員の専門分野から指導を受けて、現実の社会の状況を適切に理解できるようにする。

演習・実習を通して、文献や資料の検索方法、身近な観察、実験、野外実習に基づく生命科学や自然科学からのアプローチの方法、社会福祉などにおける現場教育の意義、コンピュータを駆使してのデータのまとめ方、口頭や文章による成果の公表の仕方などを身につける。

#### 内容

1	総合演習の意義とねらい、4領域の課題として、共通のテーマを設定する。
2	情報社会と教育（井口磯夫）
3	情報教育の流れについて、テーマの視点からの調査（井口磯夫）
4	情報バリアフリー、ユニバーサルデザイン、デジタルデバイドなどについての議論（井口磯夫）
5	生命科学と環境問題（鎌田恒夫）
6	生命科学からみた「環境問題」が生体家に与える影響の調査（鎌田恒夫）
7	食化学と環境問題（鎌田恒夫）
8	国際理解教育（橋本ヒロ子）
9	世界の福祉行政について必要な情報の収集（橋本ヒロ子）
10	世界の福祉行政について異端ーネットを活用して実習する（橋本ヒロ子）
11	地域社会と福祉（宮城道子）
12	現代社会における福祉の理念を理解するための基礎知識（宮城道子）
13	社会福祉制度や施設についての見学・実技等の体験授業（宮城道子）
14	発表会（受講者全員）
15	まとめ

#### 評価

各担当教員が課する課題（20%ずつ）について合計80%、授業参加意欲と発表内容（20%）を総合して60%以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】各担当教員が授業中に配布する。

科目名	社会教科教育法 (地理歴史科教育序論)		
担当教員名	天井 勝海		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-教職課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状(社会) / 高等学校教諭一種免許状(公民)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目はコミュニケーション学科の2・3年生を対象とした教職課程科目で前期に開講される2単位の必修科目(中一種・社会)・選択科目(高一種・公民)である。教職課程の科目、特に社会科教育法との関連性があり、これらの科目の学修を踏まえる必要がある。

科目の概要

特に中学校学習指導要領やその解説(社会編)の内容を把握し、地理的分野や歴史的分野の学習目標及び内容を理解し、教材や指導方法などの在り方などを考察する。そして、それらを踏まえ指導計画の作成を行う。また、11~14では、これまでの学修の成果を生かし模擬授業を行い実践的指導力の向上を図る。

学修目標

- ・中学校学習指導要領及びその解説(社会編)に示された「社会」の目標、地理的分野の目標と内容、歴史的分野の目標と内容などを考察しその理解を深める。
- ・実際の授業を想定した指導計画の作成を行い、指導内容や方法等の考察を行うと共に、全員が模擬授業を行い、実践的な指導力や授業力を高める。

内容

1	ガイダンス・中学校社会科及び高等学校地理歴史科(学習指導要領)の教科構造とその内容
2	中学校社会の学習目標と各分野の目標と内容及び内容の取扱い
3	中学校社会地理的分野 世界の様々な地域の指導計画の作成(指導方法と内容)(1)
4	中学校社会地理的分野 世界の様々な地域の指導計画の作成(指導方法と内容)(2)
5	中学校社会地理的分野 日本の様々な地域の指導計画の作成(指導方法と内容)(1)
6	中学校社会地理的分野 日本の様々な地域の指導計画の作成(指導方法と内容)(2)
7	中学校社会歴史的分野 歴史のとらえ方の指導計画の作成(指導方法と内容)
8	中学校社会歴史的分野 古代までの日本の指導計画の作成(指導方法と内容)
9	中学校社会歴史的分野 中世・近世の指導計画の作成(指導方法と内容)
10	中学校社会歴史的分野 近代及び現代の日本と世界の指導計画の作成(指導方法と内容)
11	中学校社会地理的分野 模擬授業の実施(1)
12	中学校社会地理的分野 模擬授業の実施(2)
13	中学校社会歴史的分野 模擬授業の実施(1)
14	中学校社会歴史的分野 模擬授業の実施(2)
15	社会科教育法 (地理歴史科教育序論)のまとめ

評価

小テストを含めた試験（60％）・指導計画の作成やレポート（20％）・模擬授業の成果（20％）で評価を行い、60点以上を合格とする。合格点に満たない場合は再試験等を行う。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

##### テキスト

- ・中学校学習指導要領（文部科学省）244円
- ・中学校学習指導要領解説 社会編（文部科学省）175円
- ・授業の際に配布されるプリント

##### 推薦書

- ・現代実践教職入門（学事出版）天井勝海編著 2200円

科目名	地理歴史教科教育法		
担当教員名	橋本 克己		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-教職課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状(社会) / 高等学校教諭一種免許状(公民)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

##### 1 科目の性格

本科目は、教員免許法に定める「各教科の指導法」(中学8単位中の2単位・高校4単位中の2単位)に対応する。

##### 2 科目の概要

本科目では、高等学校地理歴史科の教育課程について理解するとともに、高等学校地理歴史の授業展開に必要な基本的知識・技能を身につけることを目的とする。

##### 3 学修目標

本科目の学修目標は以下の3点である。 高等学校地理歴史科の教育課程構成について理解する。 地理歴史科を構成する3科目についての基本的知識を修得する。 地理歴史科の指導案を作成し授業を実施する能力を身につける。

#### 内容

- 1 地理歴史科の教科構造
- 2 地理歴史科の教育目標 中学校地理的分野・公民的分野との関連
- 3 「地理」 - 科目の性格と目標
- 4 「地理」 - 内容構成
- 5 「日本史」 - 科目の性格と目標
- 6 「日本史」 - 内容構成
- 7 「世界史」 - 科目の性格と目標
- 8 「世界史」 - 内容構成
- 9 指導案作成の基本
- 10 指導案作成の演習
- 11 模擬授業の実施
- 12 指導案の再構成
- 13 模擬授業の再実施
- 14 授業分析
- 15 まとめ

#### 評価

レポート・指導案作成課題・筆記試験により判定する。その比率は30点:30点:40点とする。合計60点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合には「再試験」を行う。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】 文部科学省『高等学校学習指導要領』および『地理歴史科解説書』をテキストとして使用する。検定済み教科用図書については、学校所蔵のものを使用する。

【参考図書】 参考図書については、本学所蔵のものを授業中に適宜紹介する。

科目名	日本史概説		
担当教員名	川口 英俊		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-教職課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状（社会）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

この授業では、日本史の流れをその時の政治体制とそれに大きな影響を与えたものを軸に論じたい。

中心は、明治以降の近代化におき、日本はどのようにして現在に至ったかを

明治政府の誕生とその動き、日清・日露戦争、第2次世界大戦まで、戦後政治などの中から探る。

その関連として、天皇、武家政権、宗教、憲法、諸外国との関係などを取り上げる。

過去の過ぎ去った事物をみるということではなく、日本史を学ぶことにより、現在の日本の理解に役立つ内容とすることを目標とする。

#### 内容

1	ガイダンス-日本史とは-
2	幕末の開国、大政奉還、「龍馬伝」
3	明治維新と明治憲法体制 - 明治憲法の制定、帝国議会の開設
4	日清戦争・日露戦争、「坂の上の雲」
5	軍国主義
6	第2次世界大戦までの日本
7	前半まとめ
8	敗戦と戦後改革 - 日本国憲法制定、戦後体制
9	戦後政治 - 55年体制、高度経済成長、日米関係、戦後の政治課題
10	日本のおかれた地政学的条件 - 近隣諸国・欧米との関係 -
11	江戸時代 - 徳川政権、幕藩体制、鎖国、幕末の対外関係
12	宗教と政治
13	沖縄-琉球王国の歴史、アメリカ統治時代、日本復帰、在日米軍基地問題、普天間基地移転問題
14	日本の政治
15	後半まとめ

#### 評価

小テスト2回（70%）、平常点（30%）により総合評価する。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

##### 推薦書

エドウィン・O・ライシャワー「ライシャワーの日本史」講談社学術文庫

石川真澄・山口二郎「戦後政治史 第三版」岩波新書

科目名	社会教科教育法（公民科教育序論）		
担当教員名	橋本 克己		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-教職課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状（社会） / 高等学校教諭一種免許状（公民）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

##### 1 科目の性格科目

本科目は、教員免許法に定める「各教科の指導法」（中学8単位中の2単位・高校4単位中の2単位）に対応する。

##### 2 科目の概要

本科目では、我が国の初等中等教育における、社会科教育全体の教育課程の構成を特に中学校に焦点を当てて学ぶとともに、中学校社会科の授業展開に必要な基本的技能を学ぶことを目的とする。

##### 3 学修目標

本科目の学修目標は以下の3点である。 初等中等教育における社会科の目標について理解する。 中学校社会科の学習内容とその意義について理解を深める。 中学校社会科の授業展開に必要な基本的技能を身につける。

#### 内容

- 戦後の教育改革と社会科の設置
- 社会科教育課程の変遷
- 高等学校教育課程の改編と公民科の設置
- 「公民的資質」の概念
- 地理・歴史教育と公民教育の関連
- 道徳教育との関連
- 教科外教育活動との関連
- 様々な授業の形態
- 資料活用の方法
- 評価法の基本
- 優れた実践事例の研究
- 指導案の作成
- 模擬授業
- 授業分析の技術と方法
- まとめ

#### 評価

レポート・指導案の作成課題・筆記試験により判定する。その比率は30点：30点：40点とする。合計60点以上を合格とし、合格点に満たなかった場合には「再試験」を行う。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】 文部科学省『高等学校学習指導要領』および『公民科解説書』をテキストとして使用する。検定済み教科用図書については、学校所蔵のものを使用する。

【参考図書】 参考図書については、授業中に適宜指示する。

科目名	教職演習		
担当教員名	天井 勝海		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-教職課程		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

#### 科目の性格

本科目は社会情報学科・コミュニケーション学科の2・3年生を対象とした教職課程科目の一つに位置づけられた前期に開講される2単位の選択科目である。教職課程の各科目、特に教職入門・教職演習 との関連性が在り、これらの科目の学修を踏まえる必要がある。なお、この科目は、福祉（教職課程・司書教諭課程科目）と同時開講である。

#### 科目の概要

これからの学校教育や教職員に求められる資質や能力などに関して、具体的な課題を取り上げ、教職員にふさわしい資質や能力及び実践的な指導力を演習などを通して身に付ける。

#### 学修目標

今日の生徒の興味・関心、能力・適性、進路希望等は極めて多様化している。また、児童生徒を取り巻く教育環境は国際化、情報化、高齢化、少子化など著しい進展や生涯学習社会への移行など急速に変化している。このことを踏まえ、これからの学校教育や教職員としてのあり方などについて具体的な課題を取り上げ考察し、教職員に求められる基本的な資質や能力及び実践的な指導力を育成する。

## 内容

1	「教職演習」のガイダンス
2	学校を取り巻く環境の変化
3	学校組織と教員の役割と責任
4	学習指導要領と特色ある教育課程の編成
5	新しい学習指導要領とその改訂の特色
6	「生きる力」の育成と総合的な学習の時間
7	授業力の向上と指導内容・方法の改善－実践指導演習－
8	健全い育成と生徒指導の在り方
9	生徒指導上の課題とその対応－実践指導演習（1）－
10	生徒指導上の課題とその対応－実践指導演習（2）－
11	キャリア教育と進路指導－実践指導演習－
12	学級（ホームルーム）経営の在り方－実践指導演習－
13	学校における接遇－実践指導演習－
14	教職員に求められる資質や能力
15	「教職演習」のまとめ



## 評価

小テストを含めた試験（60％）・演習発表やレポート（30％）・作業プリントなどの提出物（10％）で評価を行い、60点以上を合格とする。合格点に満たない場合は再試験を行う。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

### テキスト

- ・現代実践教職入門（学事出版）天井 勝海編著・2200円
- ・授業の際に配布されるプリント

### 推薦書

- ・中学校学習指導要領（文部科学省）・244円
- ・高等学校学習指導要領（文部科学省）・588円

科目名	社会・公民教科教育法		
担当教員名	橋本 克己		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-教職課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状（社会） / 高等学校教諭一種免許状（公民）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

##### 1 科目の性格

本科目は、教員免許法に定める「各教科の指導法」（中学 8 単位中の 2 単位・高校 4 単位中の 2 単位）に対応する。

##### 2 科目の概要

本科目では、高等学校公民科の教育課程について理解するとともに、高等学校公民科の授業展開に必要な基本的知識・技能を身につけることを目的とする。

##### 3 学修目標

本科目の学修目標は以下の 3 点である。 高等学校公民科の教育課程構成について理解する。 公民科を構成する 3 科目についての基本的知識を修得する。 公民科の指導案を作成し授業を実施する能力を身につける。

#### 内容

- 1 公民科の教科構造
- 2 公民科の教育目標
- 3 「現代社会」 - 科目の性格と目標
- 4 「現代社会」 - 内容構成
- 5 「倫理」 - 科目の性格と目標
- 6 「倫理」 - 内容構成
- 7 「政治・経済」 - 科目の性格と目標
- 8 「政治・経済」 - 内容構成
- 9 指導案作成の基本
- 10 指導案作成の演習
- 11 模擬授業の実施
- 12 指導案の再構成
- 13 模擬授業の再実施
- 14 授業分析
- 15 まとめ

#### 評価

レポート・指導案作成課題・筆記試験により判定する。その比率は30点：30点：40点とする。合計60点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合には「再試験」を行う。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】 文部科学省『高等学校学習指導要領』および『公民科解説書』をテキストとして使用する。検定済み教科用図書については、学校所蔵のものを使用する。

【参考図書】 参考図書については、本学所蔵のものを授業中に適宜紹介する。

科目名	英語教科教育法		
担当教員名	向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-教職課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

本科目は英語科教職課程カリキュラムにおける教職に関する科目の1つで、英語教科教育法II～IVと同様にこの科目の単位が取れないと教育実習に出ることはできません。

中学校・高校の教育課程全体における英語科カリキュラムの位置づけを背景として、英語科カリキュラム の実際について概論的に学びます。さらに、英語科教育の理論と方法について基礎的な事項を学びます。

英語科カリキュラムの位置づけとその実際について理解します。

#### 内容

毎回授業のはじめに、前回授業の復習テストを行います。

1	英語教育の目標
2	英語科カリキュラムの特色（学校教育内の位置づけ等を背景にして）
3	中学校学習指導要領の概要とその実践方法
4	高校学習指導要領の概要とその実践方法
5	言語の習得に関する理論
6	各種の英語教授法理論と方法
7	語彙・文法の学習と指導
8	リスニングの学習と指導
9	スピーキングの学習と指導
10	リーディングの学習と指導
11	ライティングの学習と指導
12	音声教材・LL教室等の教育機器を利用した学習と指導
13	教案の作成1
14	教案の作成2
15	まとめ

#### 評価

下記の割合で点数化し、60%以上の得点であることと、毎週行う復習テストの平均点が100点満点中の70点以上であることを単位取得の条件とする。合格点に満たない場合は再試験を行う。

- (1) 定期試験： 70%  
(2) 平常点： 30% （復習テスト（毎週）、課題提出（毎週））

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】『英語教育 実践から理論へ』，米山朝二著，松柏社，2400円+税。

『英語 基礎からできる総復習』，創育，880円+税。

【推薦書】文部科学省中学校学習指導要領（外国語）

文部科学省高等学校学習指導要領（外国語）

『英語学習7つの誤解』大津由紀雄、NHK出版、700円＋税.

科目名	英語教科教育法		
担当教員名	向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-教職課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

英語科教職カリキュラムにおける教職に関する科目の1つで、3年次の英語教科教育法III, IVにつながります。教育実習に出るには、英語教科教育法I～IVすべての単位を取得する必要があります。

前期で学んだ点をふまえて、中学校・高校で実際に授業を担当した場合を常に念頭に置き、わかりやすい説明を行うための基礎となる基礎的かつ実践的な文法を適宜演習形式を取り入れて学びます。

中学校・高校で英語を教えるために必要な基礎的文法事項を身につけます。

#### 内容

毎回授業のはじめに前回授業の復習テストを行います。

1	文における基本的イントネーション
2	文字及び基本的な符号
3	文の構成と基本文型
4	文の種類（疑問文、命令文、感嘆文、there構文）
5	名詞・名詞句・代名詞
6	動詞・動詞句
7	時制と相
8	態
9	形容詞・副詞
10	不定詞
11	動名詞
12	分詞
13	現在完了
14	関係詞
15	まとめ

#### 評価

下記の割合で点数化し、60%以上の得点であることと、毎週行う復習テストの平均点が100点満点中の70点以上であることを単位取得の条件とする。合格点に満たない場合は再試験を行う。

- (1) 定期試験： 70%  
(2) 平常点： 30% （復習テスト（毎週）、課題提出（毎週））

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】『英語教育 実践から理論へ』, 米山朝二著, 松柏社, 2400円+税

『英語 基礎からできる総復習』, 創育, 880円+税.

【推薦書】『英語学習7つの誤解』大津由紀雄、NHK出版、700円+税.

科目名	英語教科教育法		
担当教員名	島村 豊博		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-教職課程		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

1) 「英語教科教育法」(2年前期)で習得した点をふまえて、英語科教育の理論と方法について理解を深め、発展的な事項を学ぶ。さらに、授業の具体的な技術・方法を模擬授業をとおして体験的に学び、4年次の教育実習への橋渡しとする。

#### 内容

次のような授業計画で進めていく。

- (1) 公開研究授業のビデオの視聴
- (2) 授業の構成(年間の授業計画の中での位置付けと1時間ごとの授業設計)
- (3) Listening、Speaking、Reading、Writing の4技能の実際的指導
- (4) 文法・語彙の指導
- (5) 教材研究(中学校英語教科書と副教材の分析)
- (6) 学習指導案の作成
- (7) 模擬授業(学生同士の授業分析と評価)

上記と並行して、英語力アップのための小テストを毎回行うとともに、動詞、準動詞を中心に英文法の総整理をおこなう。

#### 評価

授業への参加状況20%、小テスト40%、レポート、または期末テスト40%の割合で評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】『英語教育 実践から理論へ』 米山朝二著、松柏社

必要に応じてプリントを配布する。

推薦書については授業の際に指示する。

科目名	英語教科教育法		
担当教員名	島村 豊博		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-教職課程		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「英語教科教育法 」（2年前期・後期）および「英語教科教育法 」（3年前期）で習得した英語教育の理論と方法についての知識を、実際に授業を行うための具体的な技術・方法に直接結び付け、自分なりの教授法が確立できるようにする。

#### 内容

- (1) 実習校での使用予定の教材研究を行った上で、教案を作成し、それに基づいて50分の模擬授業を行う。教師役の学生と生徒役の学生がそれぞれ模擬授業の後で、批評をし合う。
- (2) 前期に引き続き、教える立場に立った英文法について総点検を行う。
- (3) 教科書に使用されている世界の文化的背景についての知識も深める。

#### 評価

授業への参加状況20%、小テスト40%、レポート、または期末テスト40%の割合で評価を行い、60点以上で合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】『英語教育 実践から理論へ』 米山朝二著、松柏社

必要に応じてプリントを配布する。

推薦書については授業の際に指示する。

科目名	倫理学		
担当教員名	橋本 克己		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-教職課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状（社会） / 高等学校教諭一種免許状（公民）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

##### 1 科目の性格

本科目は、教員免許法施行規則に定める、中学1種「社会」・高校1種「公民」の「教科に関する科目」中の2単位分（選択科目）に対応する。教職課程のみの特設科目である。

##### 2 科目の概要

本科目では、高等学校公民科「倫理」・「現代社会」の指導に必要な、思想史の通史を学ぶとともに、高等学校公民科「倫理」の目標・内容と指導法の基礎を学ぶ。

##### 3 学修目標

本科目の学修目標は以下の3点である。 高等学校公民科「倫理」の構成内容を理解する。 「倫理」の授業展開のための指導案を作成できるようになる。 「倫理」の実際の授業を行う技能を身につけることができる。

#### 内容

- 1 高等学校公民科「倫理」における「先哲学習」の位置づけについて
- 2 古代ギリシアの思想 初期キリスト教の成立と展開
- 3 初期イスラム教の成立と展開
- 4 初期仏教の成立と展開
- 5 奈良時代における仏教受容 平安仏教と鎌倉仏教
- 6 諸子百家の思想 朱子学と陽明学
- 7 日本における朱子学の受容と封建教学の形成
- 8 イギリス経験論と大陸合理論
- 9 ドイツ観念論哲学
- 10 功利主義と実存主義
- 11 近代日本における西洋思想の受容
- 12 「倫理」指導案の作成
- 13 先哲学習における資料活用の方法
- 14 模擬授業の実施 授業分析
- 15 まとめ

#### 評価

指導案作成課題50：筆記試験50の比率で評価（100点満点）し、合計60点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合には「再試験」を行う。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】 文部科学省『高等学校学習指導要領』および『公民科解説書』、「倫理」・「現代社会」の検定済み教科書をテキストとして使用する。



【参考図書】 その他参考図書については、授業中に適宜指示する。

科目名	西洋史概説		
担当教員名	島村 妙子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-教職課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状（社会）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

本講義では、西洋思想史（主として政治・社会思想）の展開過程を検討することによって、現代の議会制民主主義の成立過程とその本質を明らかにし、地球市民社会時代の視野に立った課題を考えることを目標にしている。導入部に西洋思想の基幹ともいえるギリシア・ローマ・キリスト教世界の古代・中世世界にふれる。さらに、本講義の主題でもある民主主義すなわち「デモクラシー」の概念は、18世紀以降、19・20世紀までの、政治・社会史の展開過程に現れた顕著な思想の内容に焦点を絞る。最終講義では21世紀の地球市民社会に生きる現代の民主主義の特質・課題についてアジア・アフリカも取り込むことが出来たらと考えている。

#### 内容

講義形式を軸にしながらも、学生の、課題研究の場と発表・対話など参加型学習形態も織り交ぜていきたい。

1	世界史時代の到来と西洋思想史の位置づけ
2	ギリシャ的思惟とキリスト教思想の特色
3	中世封建社会の特質
4	近代社会形成の思想的背景
5	国民（近代統一）国家の形成過程
6	国民国家の確立と個人の自由・権利の関係
7	各国の議会主義確立の事情を探る
8	国民代表と委任代表の政治・社会思想
9	選挙権拡大と政党政治
10	各国の政党政治展開実情
11	ヨーロッパにおける立憲主義体制の確立
12	二つの世界大戦と民主化の進展
13	戦後民主主義の形とアジア・アフリカ
14	現代ヨーロッパの問題点を新聞教材で考え<ディベート>の結果を発表報告
15	第14時の纏めとしてDVD教材を導入（例；映画「ホテル・ルワンダ」鑑賞。

#### 評価

課題小レポート・・・3題～4題（平常の成績）予習か事後確認の為に

平常点考慮・・・毎講義の最後の5-6分使用して学びの確認質問紙を配布し出欠確認票とする。

最終講義纏めと確認・配布資料・年表・ノート・参考図書

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書 「もういちど読む 山川世界史」山川出版社

推薦書 川出良枝著 『西洋政治思想史』放送大学教育振興会 311.2/K

有賀 弘・他著 『政治思想史の基礎知識』有斐閣ブックス

科目名	地理学（地誌を含む）		
担当教員名	天井 勝海		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-教職課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状（社会）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

##### 科目の性格

本科目はコミュニケーション学科の2・3年の学生を対象とした教職課程科目の一つに位置付けられた前期に開講される2単位の必修科目である。教職課程の各科目、特に社会科教育法 ・ との関連性を踏まえて学修を進めることが必要である。

##### 科目の概要

中学校や高等学校の学習指導要領を踏まえ、中学校社会科や高等学校地理歴史科の授業展開に必要な地理学の基礎的・基本的な事項を系統地理的考察と地誌的考察をとおして把握する。講義の1～5では地理学や学習指導要領における地理学習の内容を把握し、6～10では地理的事象を系統地理的に考察し、10～14では地誌的に考察を行う。

##### 学修目標

- ・ 中学校社会科や高等学校地理歴史科の授業展開に必要な地理学の基礎的・基本的な事項や内容を把握する。
- ・ 中学校社会科や高等学校地理歴史科の授業展開に必要な地理学習野内容の理解を深める。
- ・ 地理学の各分野の内容を踏まえた指導方法や教材開発などを考察し、授業の実践的な指導力や授業力を育成する。

#### 内容

1	「地理学」（地誌を含む）ガイダンス
2	地理学の学問体系とその構成
3	学習指導要領（中学校社会科・高等学校地理歴史科）に示された教科の構造と地理学習
4	中学校社会科における地理的分野の学習内容と方法等
5	高等学校地理歴史科における地理学習の内容と方法等
6	世界の自然環境（1）世界の大地形
7	世界の自然環境（2）世界の気候と気候区分
8	世界の資源と産業（1）世界の農牧業
9	世界の資源と産業（2）世界の鉱工業
10	世界の都市と村落
11	現代世界の地誌（1）アジアの世界
12	現代世界の地誌（2）ヨーロッパの世界
13	現代世界の地誌（3）南北アメリカの世界
14	現代世界の地誌（4）アフリカとオセアニアの世界
15	まとめ・現代世界の課題とその解決を目指して

#### 評価

小テストを含めた試験（60％）・発表及びレポート（30％）・作業プリント提出物（10％）で評価を行い、60点以上を合格とする。合格点に満たなかつた場合は再試験を行う。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

### テキスト

- ・地図帳（高等学校などで使用したものがあればそれでも可）
- ・授業の際に配布されるプリント

### 推薦書

- ・データブック2011（二宮書店）680円
- ・中学校学習指導要領解説 社会編（文部科学省）175円
- ・高等学校学習指導要領解説 地理歴史編（文部科学省）410円